

編集後記

本号執筆者の多くが論稿を寄せた書物がこの春出版された。その書名『越境するスポーツ』(高津・尾崎編、創文企画)にちなんで、本号タイトルを「『越境するスポーツ』へのアプローチ」とした。執筆者の研究報告が書物収録の論稿の内容を形成するものであったからである。なお、本年3月定年退職された早川氏の研究報告は、書物収録論稿で十分だとして本号への収録は省かれた。

ゲスト研究会の掲載について、当時客員教授だったシフォヌン氏の報告原稿を現在滞在中のアメリカから完成原稿にして送ってもらう任務を坂氏が引き受けてくれたことを伝えておきたい。在独トルコ人のサッカー文化のキーワードのトルコ語の表記などメールでのやり取りや「附記」の記載までやっていただいた。

本号の発行はスタッフの個人研究費からの分担によって可能となったものであり、今後他財源が得られないかぎりこの方法をとることになる。この2、3年でスタッフ構成も変わるが、引き続き本誌が発行されていくことに変わりはないだろう。

助手の関根さんの編集実務によって本号は完成した。改めて感謝したい。

(上野 卓郎)

一橋大学 スポーツ 研究

Vol.25

「越境するスポーツ」へのアプローチ

2006年10月1日 発行

編集・発行

一橋大学スポーツ科学研究室

〒186-8601 東京都国立市中2-1

042-580-8270

www.rdche.hit-u.ac.jp/~sports/
